十一月夕刊
磐城時報
THE IWAKIJIHO
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ケ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
(日刊へ毎日發行)　係判

平町役場新築は
御大典紀念事業
總工費十萬圓中
目下設計者を物色

平町が市制準備の第一著手とする町役場の移轉新築は數年來の企圖なるも財源關係で實現されずにゐたが現廳舍の腐朽狹隘から新築案の聲を叩かれてゐたゝまらず今度こそは愈々物になりさうで去八日此委員會を開き間取を決めた、近く本設計を作り再び委員會に付すが鐵筋コンクリート總二階建の延坪三百余坪を南町裏新街路に添ふ字仲町の町有宅地九百坪に据える具体案を見る迄に進んだ、著工は明年の御大典記念事業として昭和四年に亙る二ケ年繼續工費は大体十萬圓位を要する見込みで階下に六十坪の事務室をこつて水道課を併設しその他町長、助役が今回茨城縣土浦町の岡本儀平局長と同氏の個人經營に移るに至つた。今回磐城炭礦を退職した事務部長青沼鋒太郎氏等は極力糧食部の會社直營を主張したが岡本氏との關係を絶つて從來通り會社直營となす可き運動を見れてゐる。

逐に個人經營となつた
磐炭の糧食部
高岡氏等の奔走も空しく
これが青沼氏の退職原因か

平税務署の
納税好成績
當局の期待以上

平税務署では去月末日なりし酒造税及第三種所得税が最も多額を占むる税月にて且財界も極度の不振に陷つてゐる際として到底完全な納税を見る事は不可能なるべしと懸念してゐたのに反し愈々期日となるや納税人五十二名、税額二十萬二千六百六十四圓を擁する酒造税の如き物の見事に完納され其内容の充實せるに税務當局でも一驚してゐる程であるが最低は千二十六圓なるに比し最高二萬千圓に達せるものあり取扱税目中實に注目されるものであるが此外第三種所得税の如きも九割九分七厘を納入して殘るは僅に三厘迄にこぎつけてゐると。

數十名大擧して
行政裁判所に傍聽
湯本町地下採堀問題
湯本自治体擁護を叫ぶ

元入山炭礦坑務所長吉本眞一氏が、湯本町地下の採堀を出願し仙臺鑛山監督局から不許可となり、之に不服なりとして東京行政裁判所に訴訟を提起した第一回公判は九日午前十一時東京行政裁判所に於て清水裁判長係りで開廷原告吉本眞一氏側代理增田、阿部兩辯護士。被告側仙臺鑛山監督局長橋鑛政課長、星事務官。參加人湯本町代理福岡、仲里兩辯護士出廷。傍聽席には湯本町の死活問題であるとし愛町の念に燃えて上京した湯本町區民若松孝平氏外數十名傍聽、福岡辯護士は湯本町の自治体の擁護のため熱辯を揮ひ、參加人湯本區から證人として若松孝平比佐賢司、比佐榮一の三氏を申請して閉廷した。

▲十三日會例會
平

十三日會例會は十三日午後六時半から平銀行樓上に開き左の講演

謹嚴篤學の人
荻野氏博士になる
磐中第十四回卒業生

小川村下小川村字臺荻野酉松氏及び耳鼻咽喉科に入りて研究を小名濱沖合となり非常に近くなつたので各漁船力漕き出漁中で去る八日豊漁を見たが本年は暖流のためかつをは大漁だつたがこの暖流影響から寒流屬するや、いか、まぐろ、秋刀魚等は皆不漁で例年なら今頃は秋刀魚の大漁で各濱は不景氣知らずの賑はひを呈するのであるが今年は不況のうちに終るではないかと水産試驗場では觀測してゐる。

磐城中學重ね現在では長野市の日本赤十字病院耳鼻咽喉科部長を勤めてゐるが同氏は過般愛知醫科大學に提出中の「耳鼻咽喉科領域に於ける血液豫后論」外五ッの博士論文が去る五日の教授會に見事通過し醫學博士の稱號を授與さるゝ事になつた、同氏は平町南町大和田耳鼻咽喉科醫院長大和田郡司氏と中學時代から愛知醫科大學までの同窓生で頗る謹嚴實直篤學の人で將來を囑望されてゐる。

無盡掛金を
橫領して捕はる

草野村字下神谷樫村榮一郎（二一）は去る三日東京府下日暮里谷中ブリキ職愛川新太郎方に雇はれ中同家の無盡掛金百圓を橫領逃走八日午前十時頃平驛頭を徘徊中平署員に捕はれた。

▲鮮人の賭博
勿來町大字酒井字出倉二〇番地駄菓子屋石塚吉次郎宅に於て七日午後十時頃鮮人五名來り奥座敷三疊の間に於て酒飲みを始めたが持合の花札を以て俗にオイチョカブと稱する賭博をなし十數回反覆してゐる處を夜警中の村上請願巡査に見つけられ一網打盡に捕縛された、右は同所大日本炭礦坑夫朝鮮生れ鄭禹承、尹龍伊、高在吉外二名で八日植田警察署の取調を受け同日午後一時一件書類と共に村上巡査付き添ひ平檢事局に護送された。

同業消息
▲福島民報山田盤麿氏　十一日福島行
▲磐城新聞社遠沼龍輔氏　十五日上京十五日歸平の豫定

植田の珍聞
K K 生 投

植田町八幡通り元料理屋末廣亭女將酒井よの（五二）は十三年前良人梅吉と死別したが、梅吉は當時町内一流の料理屋を經營し蓄財多く且町の豪商鐵屋の親權者として羽振りよかつた爲めに數千圓の現金と多くの不動産とを護受けた大家の寡婦として其儘後家を通せば何事もなかつたけれど年增女の空閨淋しく、よのは間もなく同町金畑の佐藤廣記と呼ぶ七ッ年下の妻子ある男と戀に落ちその妾となつて前記八幡通りに料理屋を經營し廣記と同棲、年增女の愛の巢を營んで今日に至つた、其後深刻なる不景氣風と共に料理屋營業も思はしくゆかないので今春店を閉ぢ廣記は同町番所下で養鷄をなし妻と稱むことになつた、妾のよのは一人殘され扶助を受くる筈であつたけれど廣記からは更に仕送りがないので止むなく大字石塚の從兄酒井三郎かゝの恵みで今日まで過ごした、酒井は更に資本金まで出し料理屋を經營するからとの事によるも老後を考へ廣記に對して再三離緣を迫つたけれど昔の戀の未だ醒ない廣記は別かれ話の出るごとに「俺を嫌つて逃げるならた前を殺して自訴する」等と脅かすのでよのも途方にくれ去る八日植田警察署に說諭を願ひ出た、署では双方を呼び出し西條部長が仲に立つて話を纏め同夜綺麗に別れしめた。

▲農業機關雜誌
泉村

農會では農事の改良の意味で過般來農村機關雜誌「いづみ」を發行し全村民に配布してゐる。

泥酔青年
平署に檢束

平町五丁目大河内政次郎（二〇）は十日夜泥酔して平町三丁目裏通りで暴行し平署に檢束された。

▲偉大なる常識
山部正勇氏北米に於ける我同胞最近の活動飛塚高次氏

オートバイ賣物あり

（委細面談）

平町白銀町

高島屋洋服店

電話八〇七番

靴とかばん

◎御注文は特に勉強
◎既成品も豊富にあります

平町搦手小路（役場前）

福山靴店

君はいゝ型の洋服を求められたね。誂へ？いや君コレは例のソレ正札堂さ

平町停車場通

正札堂

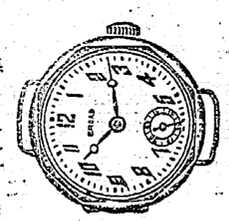
大衆向の

實用腕時計

拾型　銘々石入

採用　拾八金側拾型バリス金エトウ　特價拾壹圓
クローム側拾型　特價五圓八拾錢

絶對他の追從を許さぬ破額品!!



拾貳型　銘々石入

銀側拾貳型バリス拾石入　勞働用に丈夫一式　特價五圓九拾錢

平町三丁目　電話一九番

大谷時計病院

家庭の溫泉　別府溫泉

湯之花

本品は天然純粹の礦粉にして、リウマチス、神經痛、貧血症、神經衰弱、子宮內膜炎、痔疾、田虫、水虫等に効あり、其の他健者溫浴すれば心身爽快ならしむ。

特約店　平町一丁目　電話六四二

大平屋藥店

常磐第一ノ大炭礦ナル

磐城炭礦ノ石炭

◎石炭とコークスの特長

一、目方ノ正確
二、品質ノ優良
三、配達ノ迅速

ドーシテ、アンナ良イ品ヲ、ソンナニ安ク賣レルカ驚カレ、一度使ヘバ永久ニ御使ヒ下サルノガ當店石炭ト「コークス」ノ特長デス

値段正十貫目一俵金六十五錢也

平驛前　電話二三七番

阿部石炭商店

金牌受領

甲斐天專門

優秀品の證明

草野染工廠

磐城平町　電話二四八番

◎徒弟入用（徒弟契約に付ては年明きに際し有利に御相談申上候）

原澤醫院

平町土手通り　電話三一番

內科・外科・耳鼻咽喉科・花柳病科

高久病院

院長　高久忠
平町　電話一三五

簡易ノ金融——趣味の貯蓄
誠實と堅實——共存共榮

大藏大臣許可

磐城無盡藏會

本社　平町字田植
支社　平町字伸町

電話一番・七六九番

縣內到る處に取扱所あり　時間外も御用を辨じます　申込下さい　會員を募集

揃ひました

いろ〳〵な冬の洋服が値段は二割乃至一割安

立襟上下　十圓位より
脊廣三組　十三圓五十錢位
オーバー　六、七圓位より

其他變つたいろ〳〵な冬の洋服が澤山揃ひました

やなか洋服店

平町二丁目　電話二〇三番

印刷物は　加納活版所

強烈なる滋養　美味　以て例年御期待の

カキ貝御料理

相始め申候

カキフライ　一人前三十錢
カキなべ　同　五十錢
カキよせなべ　同　五十錢
スガキ　同　五十錢
洋式宴會仕出し　一人前一圓

牛肉大投げ賣

並肉　百匁　金三十錢
上肉　同　金五十錢
ロース　同　金七十錢
ヒレ　同　金九十錢

平町停車場前（平劇場入口）

深谷牛肉店

電話五二四番

肺結核、肺尖加答兒、肋膜炎の優秀藥が始めて出來ました

特効新案

スパー錠

十一日分　七圓
廿三日分　廿圓

幾多の實驗者が立證せる効果は

一、熱は日に增し下らず
一、咳嗽痰喘がなくなるか又は少くなる
一、盜汗が全くなくなるか又は少くなる
一、食慾が增進する
一、倦怠がなくなる
一、呼吸困難が樂になる
一、安眠が出來る
一、肋膜炎は水が取れる

縣下代理店　平町五丁目角

山野邊藥局